

令和5年度 へるん入試「読解・表現力試験」問題 出題意図

1

言葉を介さないコミュニケーションについての文章を読み、他者からのメッセージを読みとる仕方や、オンラインにおけるコミュニケーションについて筆者がどのように考えているのかを的確に読解できるかを問う。設問は次の3つに分けられる。

1つめは、問1、問3のように本文の文脈を理解して適切な表現が書けるかどうかを問うている。

2つめは、問2、問4のように本文の一部における表現を把握しているかを問うている。

3つめは、問5のように全体的な文章の主旨を理解しているかを問うている。

2

広く知られている「一筆書き」を題材に、図形が一筆書きできる条件を法則化する過程を理解できるかを問う。そのため、まず、端点と交差点、点について説明し、点から伸びている線の本数によって点を偶数点と奇数点に区別することを理解することがポイントとなる。問1は点と偶数点、奇数点の関係について、問2は偶数点と奇数点について正確に理解しているかを問うものである。

問3は一筆書きできる図形の法則を表現できるかを問うものである。

問4は全体的な文書の趣旨が把握できているかを問うものである。